

# サイトメガロウイルスの早期診断による母体管理の改善と胎児の感染および合併症リスクの削減

国立ヘルペスウイルス総合研究所（フランス、リモージュ）

## 主なパートナー / 関係者

Sébastien Hantz | Perrine Coste-Mazeau | Sophie Alain | Elodie Ribot | Melissa Mayeras

サイトメガロウイルス感染症または先天性サイトメガロウイルス（cCMV）に感染した状態で出生した乳児では、cCMV が小児の非遺伝性難聴および神経発達障害の主な原因であるため、重篤な合併症のリスクが高くなる可能性があります。cCMV は合併症のリスクが高いにもかかわらず、多くの保健当局で十分に認識されていない場合がよくあり、一般には比較的知られていません。妊娠中に初感染が生じた場合、3 人のうち約 1 人が CMV を胎児に伝染させます<sup>1</sup>。過去に CMV に感染した母親も、再活性化または再感染した場合、胎児にウイルスを伝染させる可能性があります（二次感染といいます）。

重症度によって新生児の状態はさまざまな可能性があることから、cCMV の診断は複雑になる場合があります。cCMV に感染した状態で出生した乳児のうち、90 % は無症候性であり、健康障害や明らかな発達の遅れはないと推定されています<sup>2</sup>。反対に、一部の無症候性の新生児には、難聴、軽度の視力低下および / またはコミュニケーションの遅れが生じることがあります。最後に、CMV の症状を伴って出生した乳児には、重度の合併症が生じる可能性があります。このような合併症は大きな問題を生じさせる可能性があり、視力喪失および難聴、小頭症、脾臓や肝臓の肥大の可能性だけでなく、場合によっては死に至ることもあります。現在、妊娠中の一般的な CMV スクリーニングに関する基準はなく、多くの国では、妊娠中にルーチン的な CMV スクリーニングを実施することは推奨されていません。さらに、新生児に対する CMV スクリーニングが十分ではないため、当該ウイルスの有病率と影響は、現在推定される結果よりもはるかに高い可能性があります。

フランス、リモージュの国立ヘルペスウイルス総合研究所（CHU リモージュ）の統合ケアチームは、妊婦に対する CMV 感染の早期診断を改善し、非初感染の妊婦を特定するためのユニバーサル CMV スクリーニングプログラムを採用することで、パラダイムの転換を試みました。2020 年にユニバーサル CMV スクリーニングプログラムを開始して以来、CMV 感染が特定された妊婦の数は 16 人増加しました（CMV 陽性の妊婦が 10 人から 26 人に増加、2.5 年間でスクリーニング後の母体中の CMV の特定が 2.6 倍増加）。このプログラムを広く採用したことで、対象となる CMV 陽性の妊婦の 68 % に対して妊娠初期中の抗ウイルス治療を開始でき、その結果、早期の新生児管理が可能になりました。

さらに、CMV 教育を積極的に実施し、すべての産科および婦人科部門で CMV 予防パンフレットを導入したことで、患者の認知が向上しました。この最初の取り組みが成功したことで、他の 7 つのフランスの病院での運用開始が実現しました。また、現在は他のフランスの病院での導入も計画されています。



1. National CMV Foundation (2022) "91% Of Women Do Not Know about CMV." National CMV Foundation - Cytomegalovirus (CMV) | National CMV Foundation. Available at: [www.nationalcmv.org/](http://www.nationalcmv.org/)

2. Ronchi et al. Evaluation of clinically asymptomatic high risk infants with congenital cytomegalovirus infection. J Perinatol. 2020 Jan;40(1):89-96. doi: 10.1038/s41372-019-0501-z